

令和4年度 第1回

# 足寄町総合教育会議議案

日時：令和5年1月23日

午前10時00時

場所：町民センター 会議室3

足 寄 町

## 会 議 次 第

- 1 開会
- 2 町長あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 第6次足寄町教育振興基本計画策定に関する中間報告について
  - (2) 令和5年度主な総合計画計上事業について
  - (3) その他
- 4 閉会

協議事項

- (1) 第6次足寄町教育振興基本計画策定に関する中間報告について

# 第6次足寄町教育振興基本計画策定 に関する中間報告

## 【策定委員会の経過】

足寄町教育委員会生涯学習室

## 第6次足寄町教育振興基本計画策定委員会 中間報告

### ●策定委員会構成（別紙策定委員名簿のとおり）

委員長	小松 洋一	足寄町社会教育委員の会議委員長
副委員長	阿部 嘉宏	足寄町社会教育委員の会議副委員長

### ●部会構成（別紙組織図のとおり）

学校教育部会	部会長	大宮 秀夫	足寄小学校長
生涯学習・社会教育部会	部会長	小松 洋一	社会教育委員の会議委員長
読書活動推進部会	部会長	佐竹 桃代	図書館協議会委員長

### ●全体会議

第1回 8月23日 午後2時～

主な協議内容

- 策定委員長及び副委員長の選出
- 策定に係わる基本方針について
- 住民意識調査の実施について
- 部会構成及び部会協議の内容について

第2回 12月9日 午後2時～

主な協議内容

- 各部会協議の報告
- 計画の骨子及び重点目標等の決定
- 今後の策定スケジュールについて

### ●部会会議

【学校教育部会】	主な担当領域	学校教育・家庭教育・給食と食育など
第1回部会	8月23日	部会構成決定・部会長等決定 部会協議事項等の確認
第2回部会	9月20日	議題「確かな学力の形成と豊かな心の育成」 「教育環境の整備」
第3回部会	10月26日	議題「学校指導体制の整備」 「健康教育と食育の推進・安心安全な給食の提供」
第4回部会	12月 9日	部会協議の確認と重点目標等の設定

【生涯学習・社会教育部会】	主な担当領域	生涯学習の振興・スポーツの振興など
第1回部会	8月23日	部会構成決定・部会長等決定 部会協議事項等の確認
第2回部会	9月28日	議題「足寄町の児童・生徒の現状と学校の様子」 「バランスのとれた力の育成に必要なこと」
第3回部会	10月25日	議題「地域コミュニティについて」 「文化・芸術活動の推進」 「健康づくりとスポーツ活動」
第4回部会	12月 9日	部会協議の確認と重点目標等の設定

【読書活動推進部会】	主な担当領域	読書活動推進・図書館運営など
第1回部会	8月23日	部会構成決定・部会長等決定 部会協議事項等の確認
第2回部会	9月28日	議題「図書館の活用」 議題「子どもの読書活動の推進」
第3回部会	10月28日	議題「読書推進体制の整備・連携」
第4回部会	12月 9日	部会協議の確認と重点目標等の設定

●第6次足寄町教育振興基本計画の方向性

教育振興基本計画は町の最上位計画である「足寄町第6次総合計画」で示された基本目標実現に向けての施策を具現化するための部門計画です。

これまで「生涯学習推進計画」という名称で第5次まで策定してきましたが、「生涯学習」とは、家庭教育、学校教育、社会教育すべてを含むものと捉え、教育全体を網羅する内容を盛り込んできました。

計画策定の基本的な方向性はこれまでと変わりませんが、第6次からは、国・道の計画名に合わせ、名称を「教育振興基本計画」として策定することとしました。

策定にあたっては、第5次生涯学習推進計画を継承しつつ、今日的な課題や社会情勢の変化を意識した内容とし、本町における教育活動の指針となる計画を目指して策定を行っています。

●第6次足寄町教育振興基本計画の構成

「基本構想」 基本理念と重点目標

「振興計画」 基本構想達成のための主要施策と具体的方針

●第6次足寄町教育振興基本計画の期間

令和5年度から令和9年度までの5年間

●「振興計画」の構成

第1章	学校教育、給食・食育部門	学校教育部会担当
第2章	生涯学習、社会教育、社会体育部門	社会教育・生涯学習部会担当
第3章	読書活動部門	読書活動推進部会担当

●教育に関する町民の意識調査についての調査結果

調査方法 無作為調査法（男女比と年齢層のみ均等化）  
※第5次は有作為、第4次は無作為  
標本数 500  
回収数 200（回収率 40.0%）  
調査結果 別紙のとおり

●今後の予定

1 1月18日	定例教育委員会	策定状況中間報告
1 2月 9日	第4回各部会	部会協議のまとめ・重点目標等の設定
1 2月 9日	第2回全体会	部会協議報告・推進計画骨子協議
1月～2月	事務局	文案作成・整理
2月上旬	策定委員役員会	第6次教育振興基本計画答申案の審議
2月中旬	第4回全体会	第6次教育振興基本計画答申案の決定 社会教育委員の会議へ具申
2月中旬	社会教育委員の会議	第6次教育振興基本計画の最終審議 教育委員会教育長へ答申
2月中旬	定例教育委員会	第6次教育振興基本計画答申書議決
2月下旬	町議会文教厚生常任委員会	第6次教育振興基本計画説明
3月中旬	足寄町議会	第6次教育振興基本計画議決
3月下旬	<u>第6次教育振興基本計画発行</u>	

# 足寄町教育振興基本計画策定委員会組織図

策定委員長	小松 洋一
策定副委員長	阿部 嘉宏

学校教育部会		生涯学習・社会教育部会		読書活動推進部会	
家庭教育、学校教育、学校・家庭・地域の連携、給食と食育など		学習環境づくり、人材育成、地域づくり、生涯学習の振興、スポーツ振興など		読書活動推進、学校図書室との連携、図書館運営、図書館活動などが中心	
部会長	大宮 秀夫	部会長	小松 洋一	部会長	佐竹 桃代
副部会長	畑 健太郎	副部会長	阿部 嘉宏	副部会長	五十嵐 健二
	渋谷 圭		松崎 晴美		先崎 紀子
	中村 俊緒		宇野 浩		角野 友香
	斉藤 貴史		佐々木 寿雄		程野 純貴
	上野 精嗣		餌取 靖徳		及川 美鈴
	竹島 浩		齋藤 愛子		安藤 智子
			松本 憲治		
			澤村 寛		
事務局		事務局		事務局	
主幹	飯沼 聖広	主幹	原田 慎一	主幹	丸山 一人
	赤間 教儀		遠藤 浩一		齋藤 克己
	平間 貴浩		池田 剛基		村田 美佳
	小針 拓哉		澤山 雅史		
	曾根 広至		加藤 つばさ		
			青木 敬二		

事務局組織	
事務局長	丸山 一人
事務局次長	原田 慎一
事務局主幹	飯沼 聖広
〃	赤間 教儀
事務局主査	遠藤 浩一
社教主事	加藤つばさ
事務局員	他職員



# 第6次足寄町教育振興基本計画策定 に関する中間報告

## 【教育に関する意識調査集計結果】

足寄町教育委員会生涯学習室

# 足寄町の教育に関する町民の意識についての調査(集計結果)

## 1. 目的

足寄町教育振興基本計画を策定するにあたり、住民の行動や意識にどのような特性があるのか、住民ニーズを把握し計画に反映するため。

## 2. 調査項目

調査項目については、平成29年に実施した「第5次足寄町生涯学習推進計画：町民の生涯学習に関する意識調査」(以下前回調査)との比較のため前回調査を踏襲しつつ設問内容を一部削除、追加等の精査を図った。

調査項目の構成については次のとおり。

設問事項	(1) 町民意識について	(2) 町民の学習要望と現状
	(3) 学習情報について	(4) 子どもの教育環境について
	(5) 読書活動について	(6) フェイスシート

## 3. 調査方法

### 調査対象及び調査方法

足寄町に居住する20歳以上の男女を対象に、層化二段系統抽出法により調査。

層化二段系統抽出法とは、住民基本台帳から年齢層と男女比率が均等になるように無作為抽出を行い調査したもの。

前回調査は有意抽出法(紹介法)を用いて調査。

調査期間 令和4年8月20日～9月9日

配付部数 500部

回収部数 200部(回収率40%)

## 4. 調査実施機関

調査機関 足寄町教育委員会生涯学習室

調査分析 足寄町生涯学習推進計画策定委員会

## 5. 調査結果について

今回の調査は第4次計画で用いた「層化二段系統抽出法」を採用した。

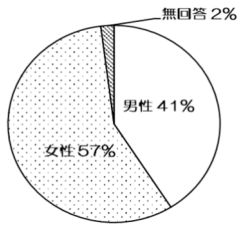
前回(第5次計画)は「有意抽出法」を用いたため回収率は非常に高かったが、統計学的な信頼度は比較的低いものとなった。

よって今回は主に第4次計画でのアンケート結果と比較分析を行い、計画策定に活用する。

なお、自由回答は原文のまま掲載しています。

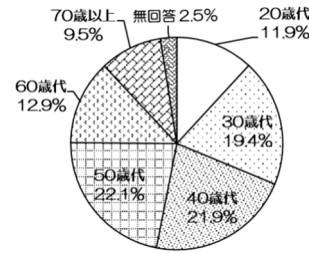
# 回収状況の概要

## ①性別



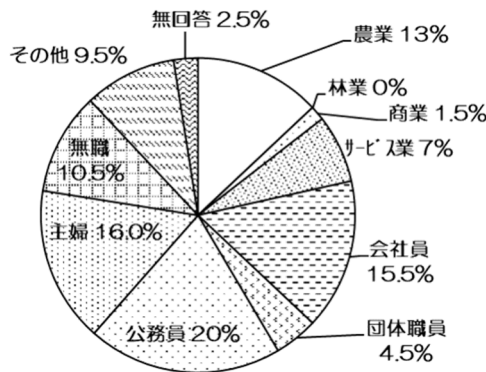
性別	回収数 (人)	割合 (%)
男性	82	41%
女性	114	57%
無回答	4	2%
合計	200	100%

## ②年代



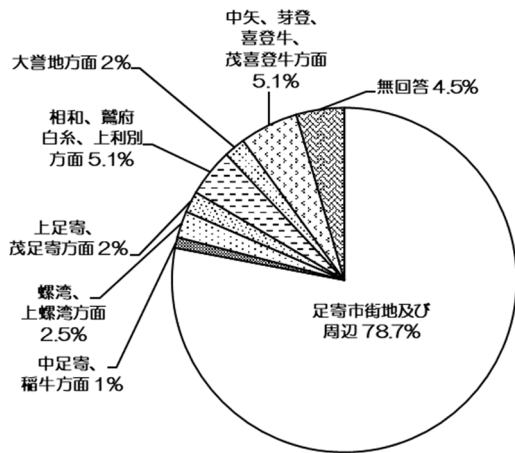
年齢	回収数 (人)	割合 (%)
20歳代	24	12%
30歳代	39	19.5%
40歳代	44	22%
50歳代	44	22.1%
60歳代	26	13.0%
70歳以上	18	9%
無回答	5	2.5%
合計	200	100%

## ③職業



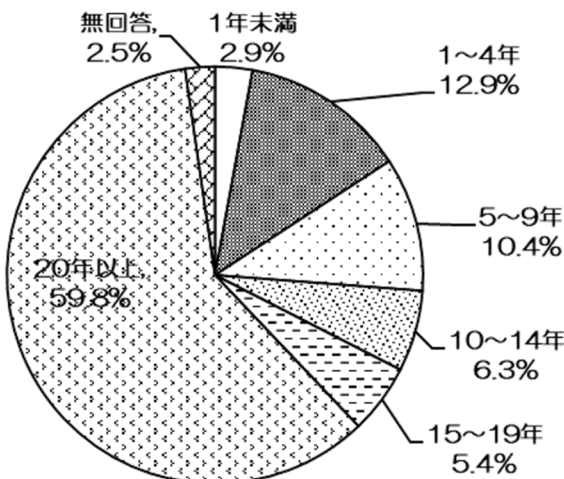
職業	回収数 (人)	割合 (%)
農業	26	13%
林業	0	0%
商業	3	1.5%
サービス業	14	7%
会社員	31	15.5%
団体職員	9	4.5%
公務員	40	20%
主婦	32	16.0%
無職	21	10.5%
その他	19	9.5%
無回答	5	2.5%
合計	200	100%

## ④居住地



居住地	回収数 (人)	割合 (%)
足寄市街地及び周辺	156	78%
中足寄、稲牛方面	2	1%
螺湾、上螺湾方面	5	2.5%
上足寄、茂足寄方面	4	2%
鷺府、白系上利別方面	9	4.5%
大誉地方面	4	2%
中矢、芽登、喜登牛、茂喜登牛方面	11	5.5%
無回答	9	4.5%
合計	200	100%

## ⑤居住年数

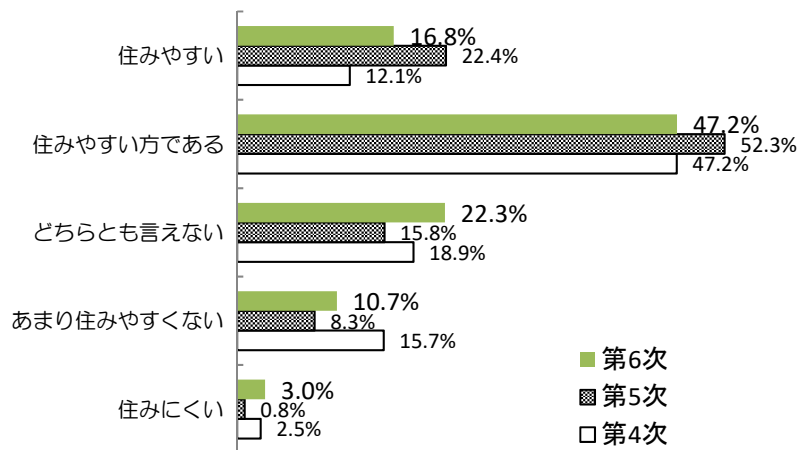


在住年数	回収数 (人)	割合 (%)
1年未満	10	5%
1～4年	24	12%
5～9年	20	10%
10～14年	19	9.5%
15～19年	10	5.0%
20年以上	111	55.5%
無回答	6	2.3%
合計	200	100%

## 設問集計結果

### 【町民意識について】

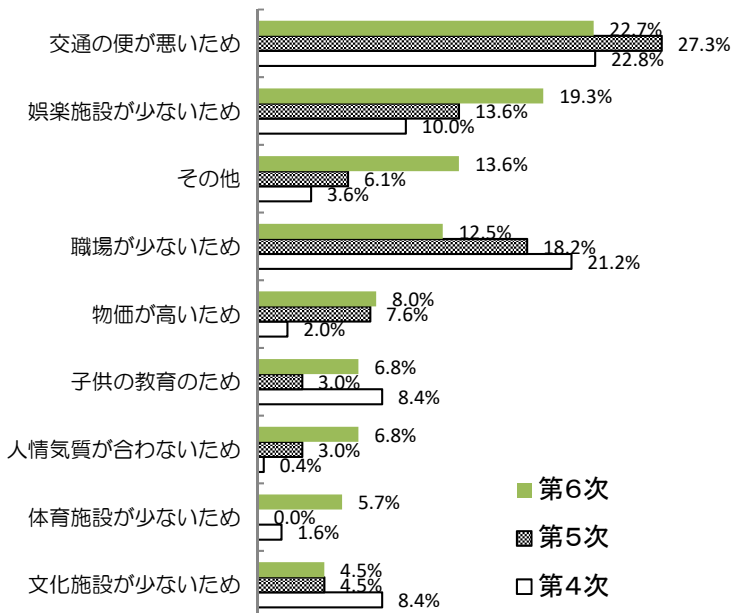
問1 あなたは足寄町に住んでいてどのように感じますか？



【傾向】同様の調査方法(無作為抽出法)をとった第4次計画と比較すると「住みやすい」「住みやすい方である」が4.7ポイント上昇している。

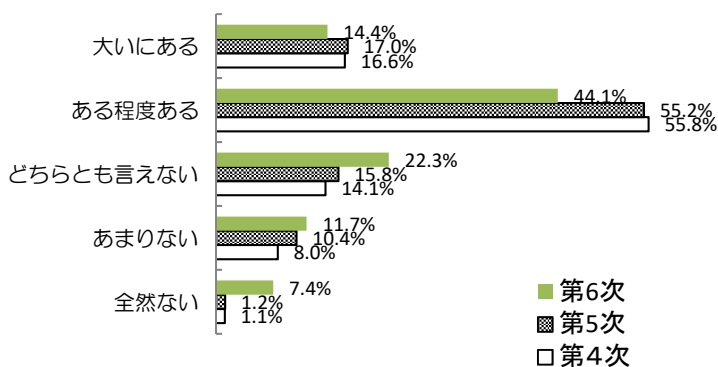
10年前に比べて住みやすいと感じている町民が若干増加していると思われる。

問2 「住みやすくない」、「住みにくい」と回答した理由は何ですか？



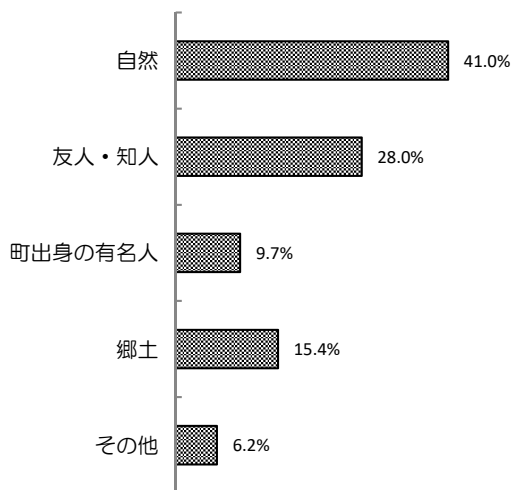
【傾向】「娯楽施設が少ない」からと回答した人が増えた一方、「職場が少ない」からと答えた人が減少した。町内で働く環境が多少整ってきている事がうかがえる。

問3 足寄町に、何か誇りや愛着を感じていますか？



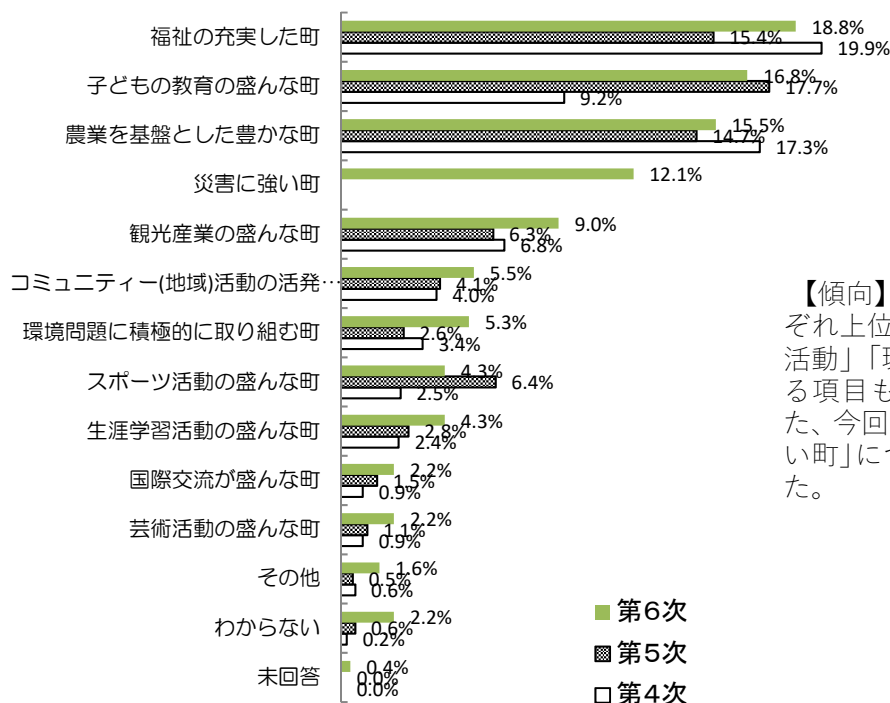
【傾向】「大いにある」「ある程度ある」の合計が第4次、第5次と比較して10ポイント以上減少し、「どちらとも言えない」が増加している。コロナ禍において町の魅力に触れたり感じたりする機会が減っている事が要因と考えられる。

問4 問3で「大いにある」「ある程度ある」と回答した理由は何ですか？



【傾向】「自然」に愛着を感じている人が40ポイントを占めた。その他として「子育て環境」や「教育」、「産業」に誇りや愛着を持っているとの意見があった。

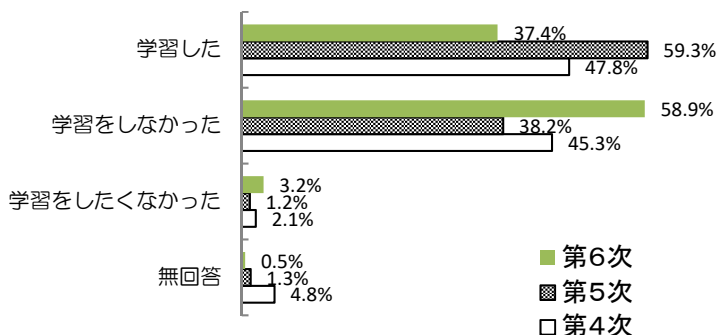
問5 あなたは、将来の足寄町をどのような町にしたいとお考えですか？



【傾向】「福祉」「教育」「農業」がそれぞれ上位となったが、「観光産業」「地域活動」「環境問題」への取り組みに関する項目もポイントが上昇している。また、今回から項目に追加した「災害に強い町」についても高いポイントを獲得した。

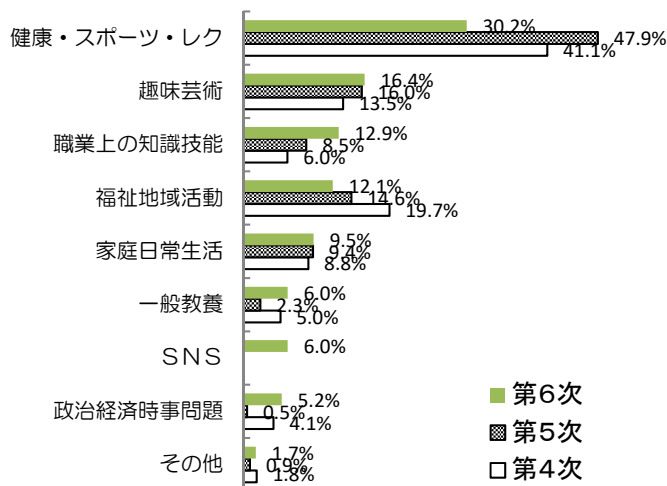
【町民の学習要望と現状について】

問6 生涯学習（文化・スポーツ・趣味・レクリエーション・ボランティア活動等）をこの一年間にしたことがありますか？



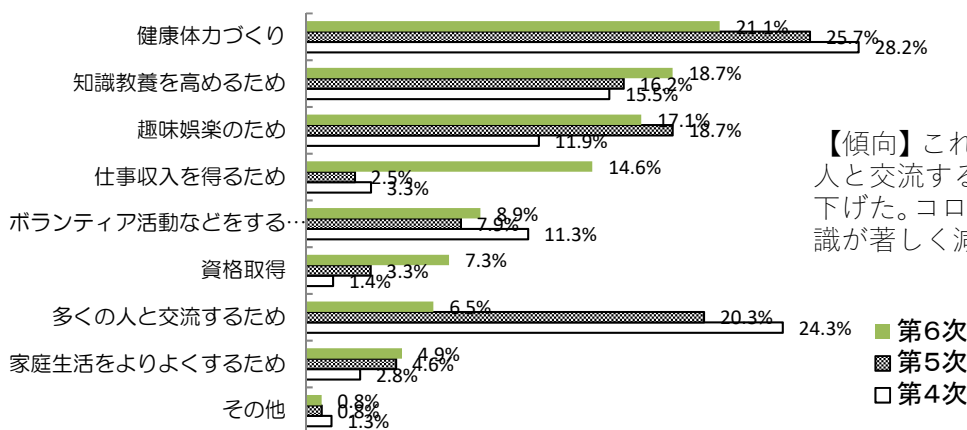
【傾向】「学習をしなかった」が大きく増加している。コロナ禍における学習機会や学習意欲の低下が大きく影響していると考えられる。

問7 問6で「学習をした」と答えた方が、学習した主な内容は何ですか？



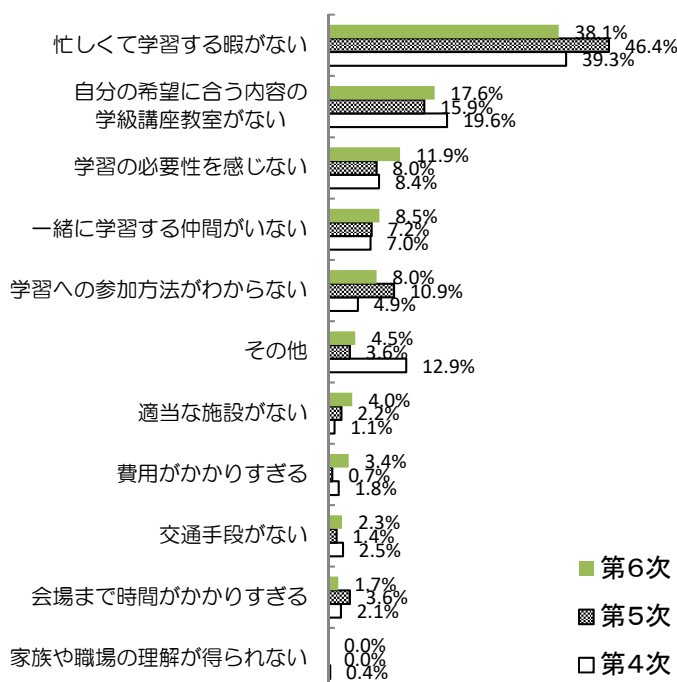
【傾向】「健康・スポーツ・レク」が10ポイント以上低下している。「SNS」や「政治経済」について学習している方が一定数いる事が時代の流れと言える。

問8 問6で「学習をした」と答えた方が、学習した主な理由は何ですか？



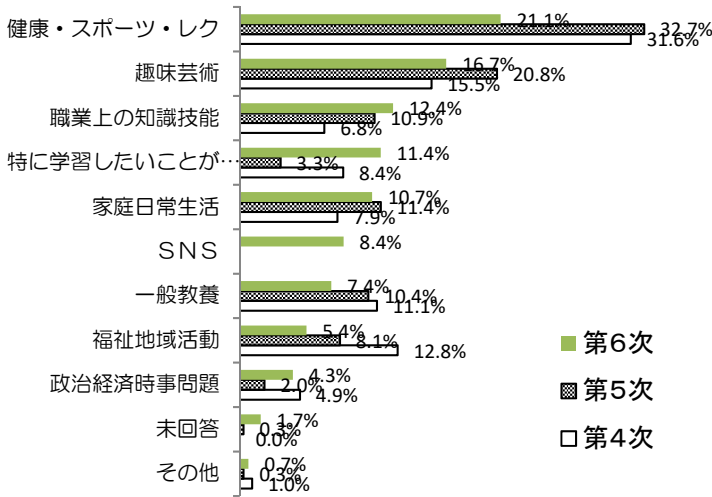
【傾向】これまで上位であった「多くの人と交流するため」が大きくポイントを下げた。コロナ禍により交流の機会と意識が著しく減少している。

問9 問6で「学習をしなかった」「学習をしなくなかった」と答えた方の理由は何ですか？



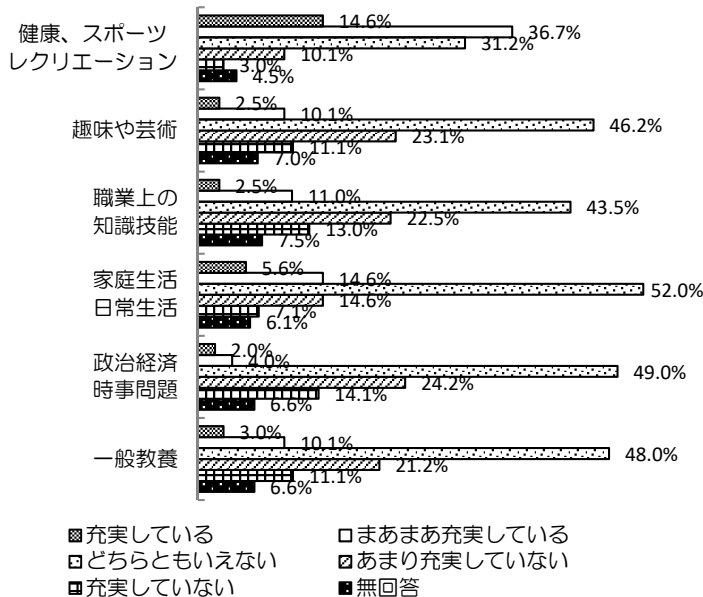
【傾向】前回調査同様「忙しくて学習する暇がない」を理由とする回答が最も多かったが、「その他」の意見には「コロナ禍」を理由とする回答もあった。

問 10 あなたが今後学習したいと思う主な内容を次の中から選んでください。



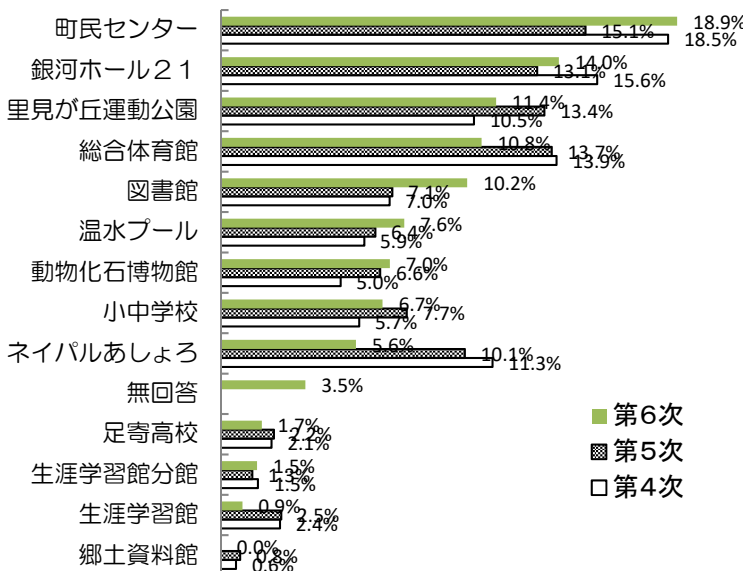
【傾向】これまでと同様「健康・スポーツ・レク」と趣味芸術が上位となったが、「職業上の知識・技能」や「SNS」を希望する方が10ポイント前後となっていることが最新の傾向として認められる。

問 11 足寄町で学習しようとした場合、学習する機会と場所は充実していますか。



【傾向】「健康・スポーツ・レクリエーション」に関することについては、「充実している」が「充実していない」を大きく上回っているが、そのほかの項目は「どちらともいえない」が多くを占めている。

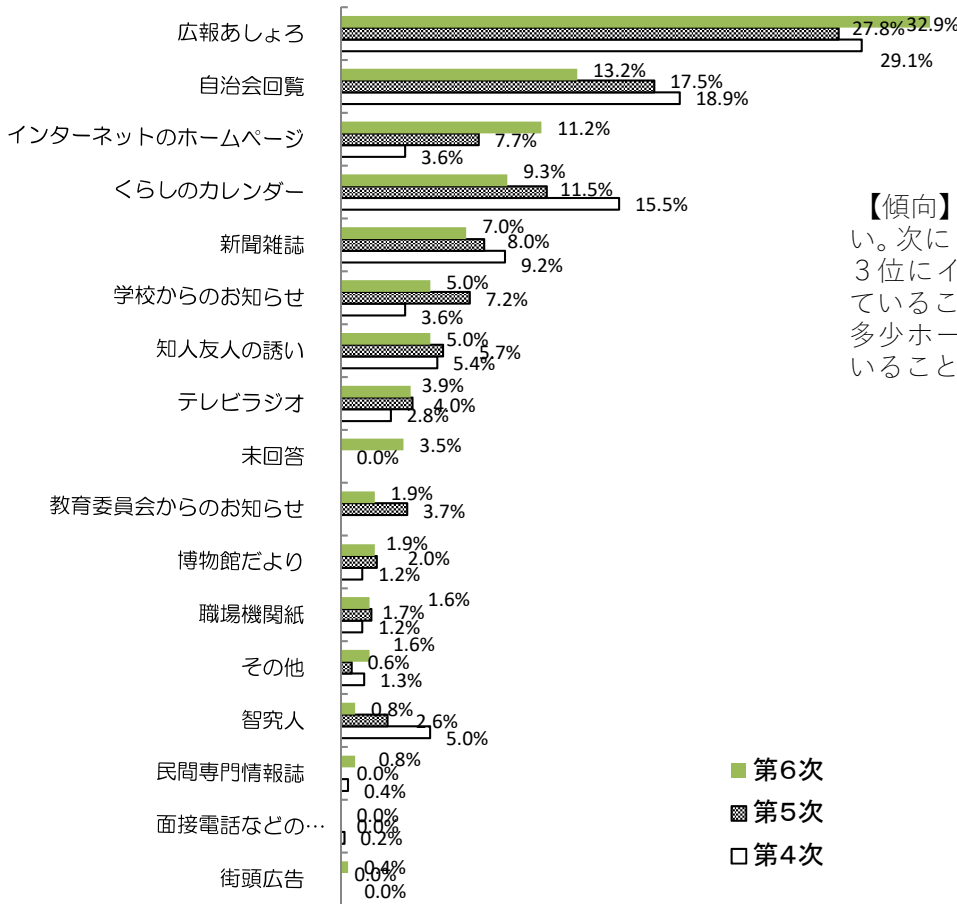
問 12 あなたはこの一年間で、町内の次の施設を利用したことがありますか？



【傾向】「町民センター」「銀河ホール21」「里見が丘運動公園」の順に多く利用されている。図書館を含めた「町民センター」と体育施設を含めた「里見が丘公園」の利用者が多いことがうかがえる。

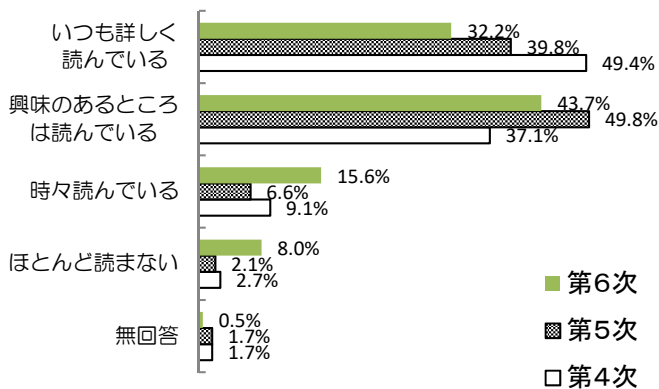
【学習情報について】

問 13 あなたは学習についての情報を主に何から得ることが多いですか。



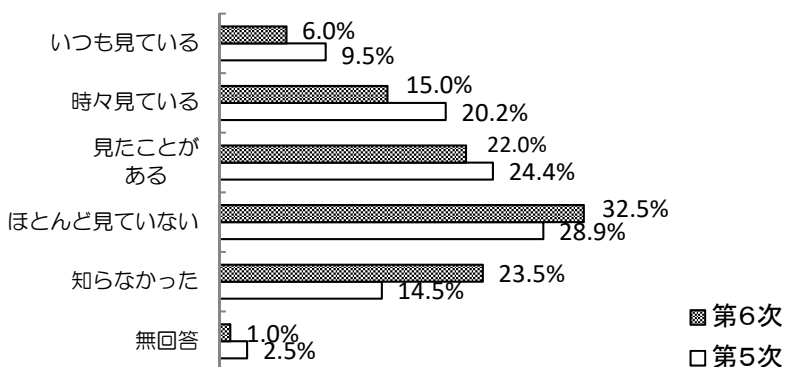
【傾向】「広報あしよろ」が圧倒的に多い。次に「自治会回覧」となっているが、3位にインターネットがランクインしていることから情報源の変化とともに、多少ホームページの閲覧者が増加していることが推測できる。

問 14 あなたは「広報あしよろ」を読んでいますか。



【傾向】「広報あしよろ」については、「いつも詳しく読んでいる」が7.6ポイント減少したが、「興味のあるところは読んでいる」「時々読んでいる」を含めると91.5%であり、ほとんどの町民が読んでいることがわかる。

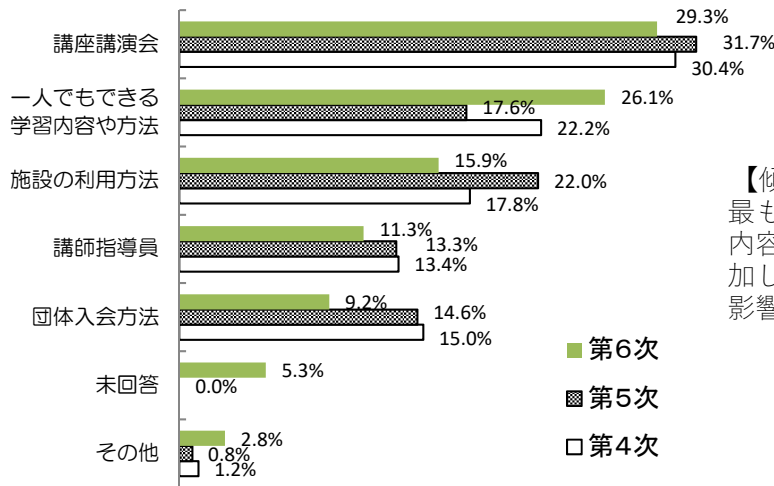
問 15 あなたは足寄教育委員会が作成しているホームページをご覧になられたことがありますか？



【傾向】第5次の有意抽出法での回答に比べ、見ている方の割合が減少しているが、今回の無作為抽出による数値が実態により近い結果であり、43%の方が見た事があると回答している。

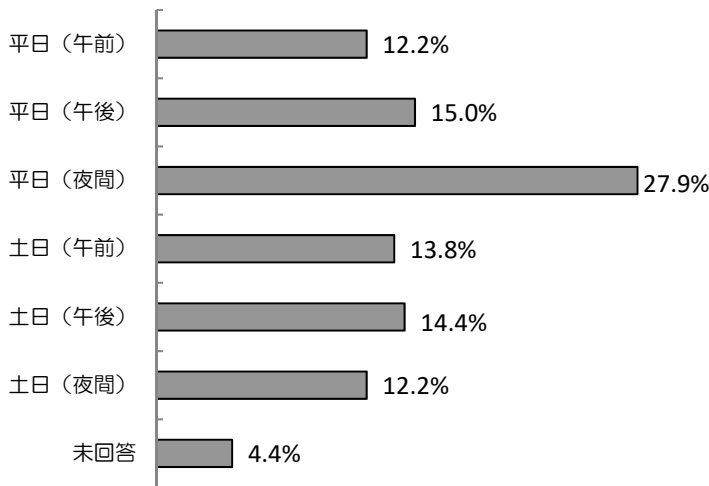


問 16 あなたが今後、学習を進めてく上で、今一番知りたいと考えている情報または提供してほしいと思う情報を次の中から選んでください。



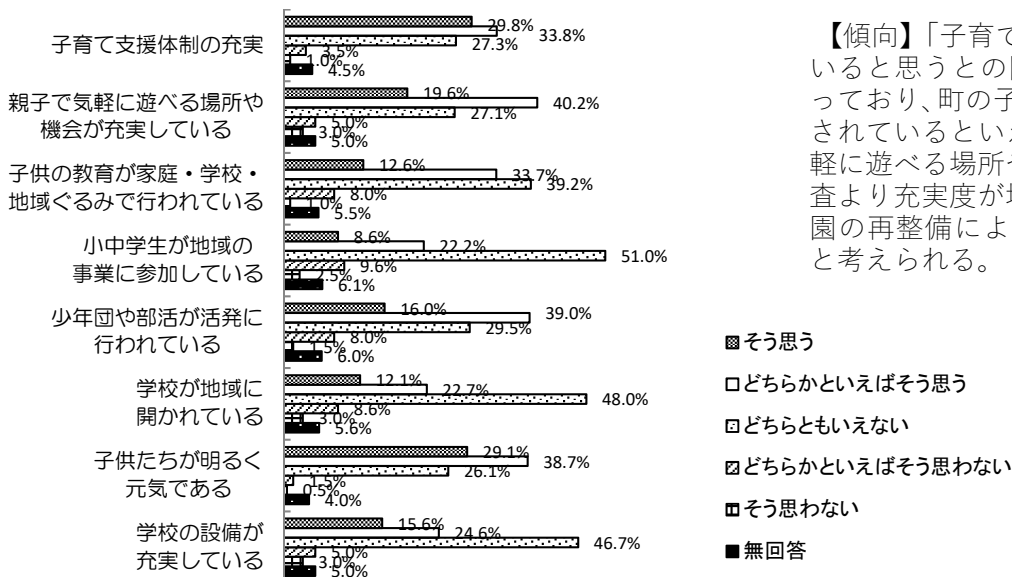
【傾向】前回調査同様「講座講演会」が最も多かったが、「一人でもできる学習内容や方法」を求めている方が大幅に増加したのは、時代背景（変化）が大きく影響していると思われる。

問 17 あなたが今後、学習活動を行うとしたら、1週間のうちでいつが行いやすいですか、次の表の中に○印をつけてください。



【傾向】「平日の夜間」が最も多く、次いで「平日の午後」「土日の午後」となっている。「平日の午前」と「土日の夜間」は比較的参加しにくい傾向があることがうかがえる。

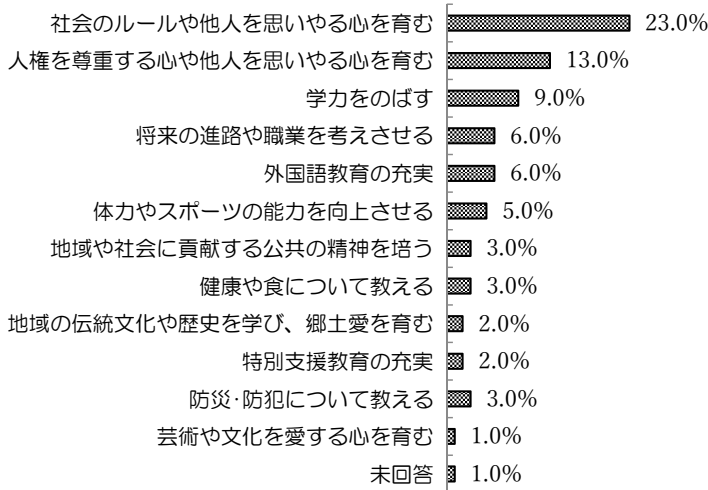
問 18 足寄町の子育てや学校教育に対するあなたの考えについて、もっとも近いものを選んでください。



【傾向】「子育て支援体制」が充実していると思うとの回答が 63.6%と高くなっており、町の子育て支援策が概ね評価されているといえる。また、「親子で気軽に遊べる場所や機会」に関して前回調査より充実度が増しており、里見が丘公園の再整備による遊具等の充実が一因と考えられる。

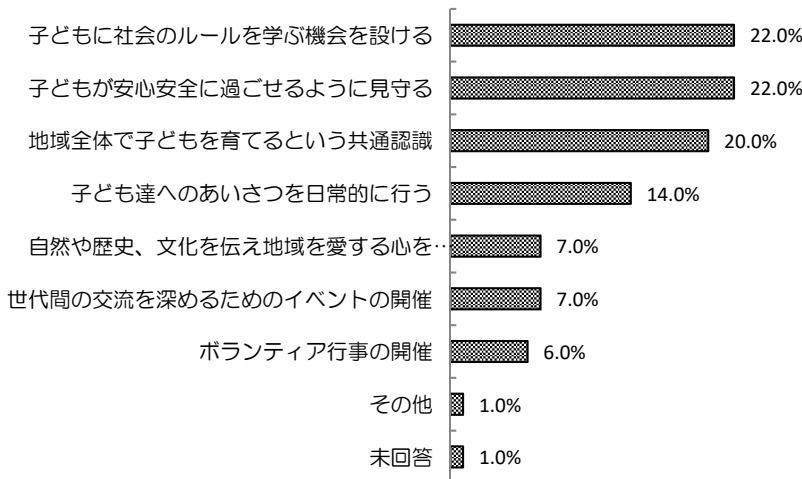
【子どもの教育環境について】

問 19 あなたが、学校に期待することは何ですか。次の中から選んでください。



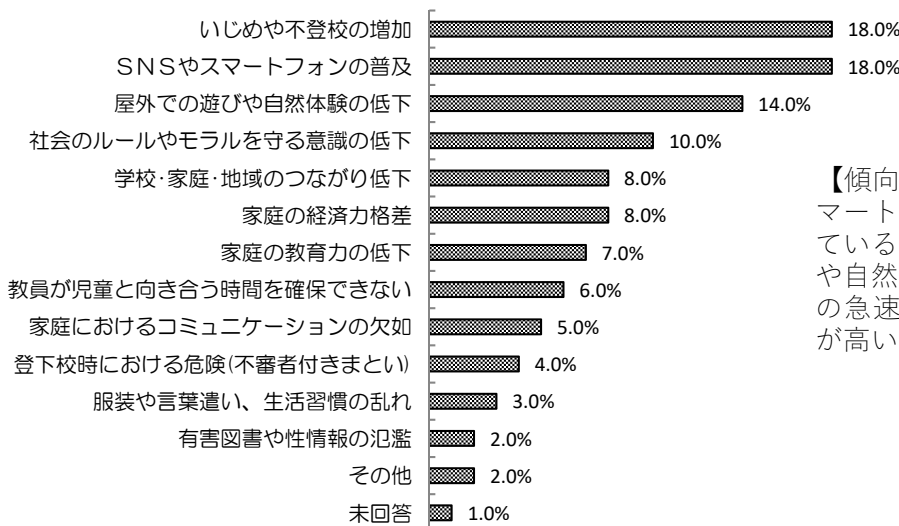
【傾向】「社会のルールや他人を思いやる心を育む」など社会性の習得に期待している事がわかる。次いで「学力をのばす」などの学習面への期待が高くなっている。

問 20 子どもたちを健やかに育むために、地域でどのようなことに力を入れて取り組むべきだと思いますか。



【傾向】「社会のルールを学ぶ機会」「安全安心に過ごせるよう見守る」が最も多く、次いで「地域全体で子どもを育てる」となった。地域ぐるみで子どもたちを見守っていく項目に対するポイントが高くなった。

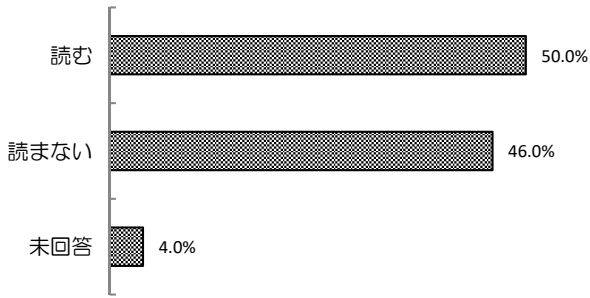
問 21 足寄町の子どもたちが成長していく上で、特に問題と感じていることはどんなことですか。



【傾向】「いじめや不登校」「SNSやスマートフォン」について特に問題と感じている方が多く、次いで「屋外での遊びや自然体験の低下」となった。通信技術の急速な進歩に伴う問題について関心が高い結果となった。

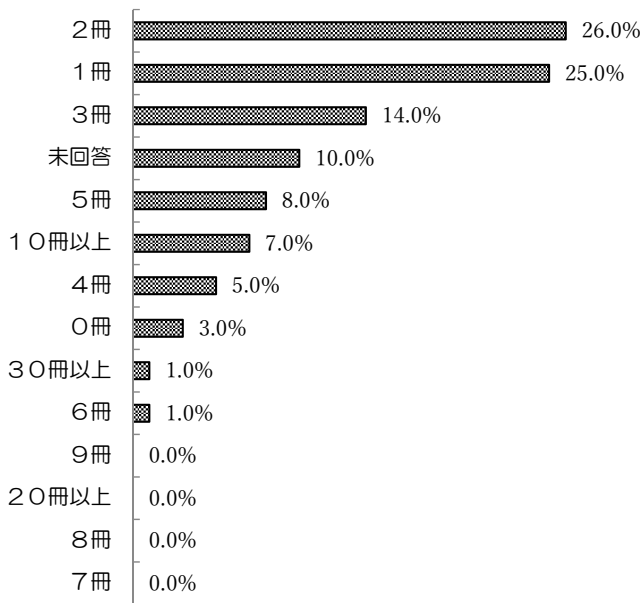
【読書活動について】

問 22 あなたは、本を読みますか？



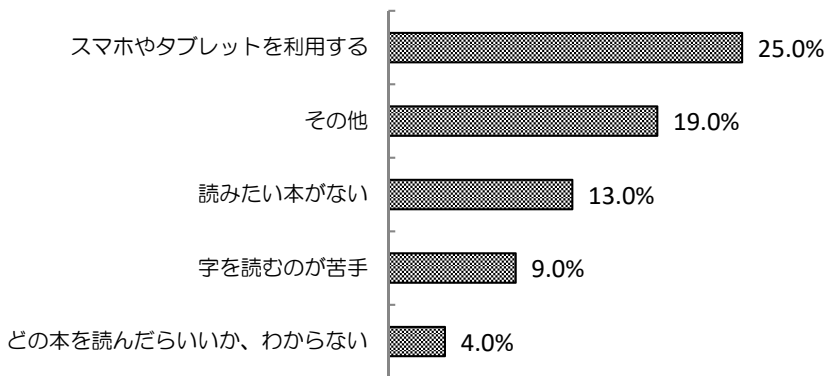
【傾向】本を「読む」が「読まない」をわずかに上回った。今回からの新たな調査項目であるため、次回以降に「読む」の割合が増加するためにどのような施策が必要であるか検討しておく必要がある。

問 23 月に何冊読みますか？



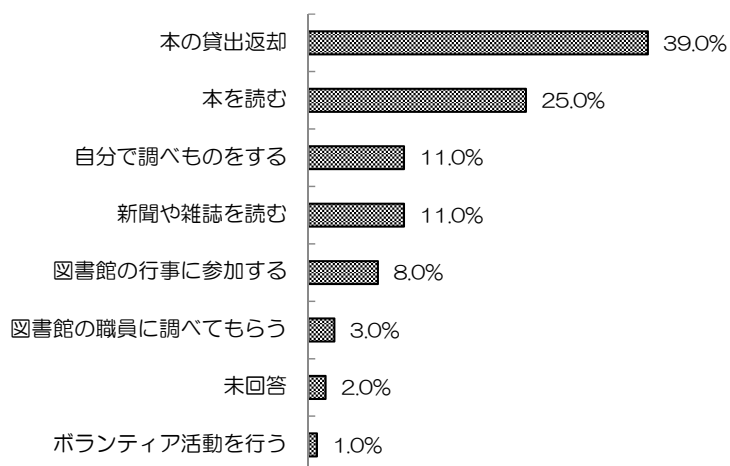
【傾向】本を読むと答えた方の約半数が月に2冊以下であることがわかる。また、10冊以上読む方が8%いることもこの設問で判明した。

問 24 あなたが本を読まない主な理由は何ですか？



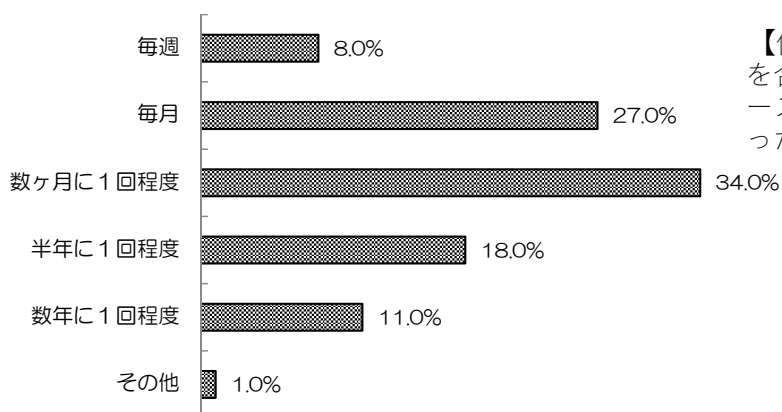
【傾向】「スマホやタブレットを利用する」が最も多かった。その他の理由としては「忙しくて読む時間がない」などの時間的な理由が複数寄せられていた。

問 25 図書館をどのようなことで利用したことがありますか？



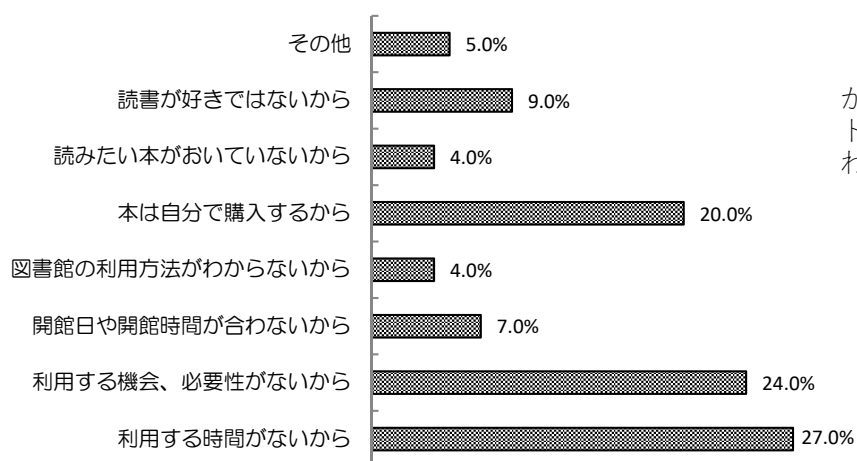
【傾向】「本の貸出返却」が最も多く、次いで「本を読む」となっている。「職員に調べてもらう」など、情報センター機能としての認知がまだ浸透していないことがうかがえる。

問 26 図書館をどのくらいの回数で利用されていますか？



【傾向】「毎週」「毎月」「数カ月に1回」を合わせて利用者の約7割が一定のペースで図書館を利用している結果となった。

問 27 あなたが図書館を利用しなかった主な理由について次の中から選んでください。



【傾向】「利用する時間がない」「必要性がない」「購入するから」が高いポイントとなった。その他の理由には「場所がわからない」や「子どもが小さいから」「コロナ禍だから」等があった。

## 第6次足寄町教育振興基本計画【町民の意識調査に寄せられた意見集約】

設問 最後に、あなたの足寄町の教育環境に対するご意見等があれば下記にご記入をお願いいたします。

- 未成年はケータイもたなくていい。ちゃんと使えない奴が多すぎる。 (30代・女性・農業)
- 水道や建築の専門学校、山村留学、本別公園のような公園、看護学校を作ってほしいです。 (50代・女性・無職)
- 自然豊かな環境を生かしてのびのび子育てができるため、足寄町の文化や歴史を大切にしてほしい。 (40代・女性・医療介護)
- 子どもがまだ小さいので小学校以上のことはわかりませんので、こども園について要望があります。3歳になった時点で入園できる市町村などありますが、足寄町では4歳になる年度にならないと入園することが出来ず、一時保育の利用も料金がかかります。入園できないのであれば、3歳以上の保育無償化適用し、一時保育はせめて無料にしてほしいです。第2子が居たりすると働くこともできず、一時保育を利用したくても回数に限度があります。子育てしやすい町にするためにも、よろしく願いいたします。 (30代・女性・主婦)
- 中学のスクールバスが部活の後18:00にのって家に帰ってくるのが19:20頃です。家に帰って来て入浴、夕食後、就寝までの間、勉強する時間が1時間ちょっとしかありません。土、日は朝早くから夕方まで部活です。19:30前後に帰宅するのはしかたないと思いますが、テスト前など、少しでも勉強する時間を確保するため、仕事の合間に往復1時間かけて迎えに行ってます。学校ではテスト15日前で家庭でのテスト勉強時間を「目指せ45時間」と言ってますが、遅くに帰宅するスクールバスにのってる子達にとっては不可能です。以前、冬のスクールバスの時間の表を持って来ましたが、冬の帰宅時間が20:30すぎになってました。朝もスクールバスの時間がとても早く、遅くまで起きていることはできません。今でもギリギリの時間で何とか勉強する時間を確保している状態です。冬でも今以上に遅くならない様にバスを増やすなどの対応をしてもらわないと、ただ寝るのに帰って来る様なことになってしまいます。町の子達と平等に勉強時間を確保するのは難しいですが、今の予定の冬のバス時間では、勉強する時間はゼロになります。これ以上子どもの勉強する時間がへらない様にバスの増便の検討をおねがいします。朝7時過ぎに家を出て帰りが12時間後位ですが、冬は13時間半位家をあける事になり、大人でももう少し早く帰りますよね。勉強時間だけでなく、家族との時間もなくなる様な事がない様お願いします。 (40代・男性・農業)
- 小学生の読書時間を増やす教育を望みます。 (60代・男性・無職)
- 小学校の近くの交差点で車を止めて渡らせてあげたら小学校低学年と思われる女の子が大きな声で「ありがとうございました」と言ってくれました。このまま成長して行ってほしいです。 (60代・男性・農業)
- 芽登に子どもが遊べる公園が欲しい。 (30代・女性・農業)
- 老後の生活を考えるだけです。子供も孫も足寄にいないので、今これからの教育環境はわからない。 (70代以上・女性・主婦)
- 学童について、利用規定があまり納得がいかない。ランドセル利用??の範囲だったり、夏休み、冬休みの利用時は徒歩で行かせるのがだめだったり、普段、学校まで歩いていっているのになぜ休みの時はだめなのか??夏休み(今回)期間あずけていたが、送り届けるだけでなく、保護者がわざわざ玄関まで送り届けなければならぬとか、お迎え時、服装を見て、仕事かそうでないかを見て注意されたり、用事があって仕事が休みの日は帯広などへ行きたい時もあるのにそこまでされると・・・もう学童利用をやめたくなるし、子どもに無理させて1人でずるずる番をしてもらった方が良くなる。お金を払うので何も言わず預かって欲しいと思う。仕事が休みの時は、学童利用できないときびしいので、他の保護者も学童がきびしくてうるさいのもうお金払っても良いとたくさん聞く。どうか学童の利用規定見直してほしい。実際、無理して1人でずるずる番させていることが多い。かわいそうに思う。 (30代・女性・主婦)
- 教育委員会の職員の皆様は年寄の私から一言お礼を申し上げます。特に社会教育担当の職員さん色々な事をお聞きするたびに笑顔で親切、丁寧に心がゆきとどく対応に感謝を致しております。今後共お身体をご自愛下さり頑張ってください。 (70代以上・男性・無職)

- 高齢化のため、何か趣味をみつけて楽しく生活できたら。心配なのは教育ではないですが、国保、医師・看護師の程度の低さ、態度の悪さ、病気になりたくない。(60代・女性・商業)
- 大都市と比べると充実しているとは言えないが、この規模の割に色々充実させてくれていると思う。今後も無理のない範囲で充実させてほしいです。(30代・女性・主婦)
- 土・日仕事の家庭がわずかですがあります。農家は季節で土・日にあずかってもらうと助かることもあります。祖父母が近くにいない環境のお宅もわずかですがあります。少数意見にも対応して頂けると、短い子育て期間をなんとか乗り越えられます。思い返せばあっという間の期間ですが子育て中は他人様や行政の手をかりなければ思いつめて苦しい時期もあったような気がします。かりて、乗り越えられることも多くあります。(30代・女性・農業)
- 無料の学習塾があり、又はスケートリンク、各種施設があって大いに活用する事を促すことが教育の発展につながると思います。(70代以上・女性・無職)
- これからも良い町づくりをお願いします。(50代・男性・公務員)
- 我が子に参加させてあげたい企画が沢山ありますが、送り迎えの問題で参加を断念する事が多々あります。広い足寄町には難しい問題かと思いますが、へき地住民にとっては片道でも有難いです。送迎バス付きの企画、ご検討いただけたら幸いです。(40代・女性・農業)
- 子どもがいない為、教育に関する意見は詳細にできない。足寄町の施設等も場所もわからない。(40代・女性・農業)
- 子ども第一主義を徹底し、教員がはたらきやすい環境を整えて下さっていることに感謝いたします。(50代・男性・公務員)
- 生涯学習については、講師を招いたり、事前準備等と大変でしょうが、スポーツ・語学・楽器・IT・ダンス・料理・園芸と初心者用に幅広く行って頂きたいと思います。利用、参加できる年齢も幅広くしていただくと幼児や少年少女等興味を持つきっかけが作れるかと思います。成人、年配者にとっては、挑戦したくても出来なかった事を挑戦することができる喜びや楽しさにつながると思います。全ての科目において幅広い年齢に対応するのは無理かと思いますが、そういう科目があり、様々な年齢に対応するコミュニケーション活動を希望致します。大変でしょうが、職員の皆様、頑張ってください。(40代・女性・会社員)
- 里見が丘や集いの広場など、子どもを遊ばせる場所は多い方だと思うが、できれば休日・祝日も子どもたちが遊べる室内遊具場(あそびば)を作りたい。広くて乳幼児から小学生くらいまで遊べるようにゾーン別になっている室内あそびば(具体的には「ピッチとせ」のようなところ)があれば有料でも行きたい人が多いと思う。十勝管内にはそのような遊び場が少ないのできっと道内から子連れが沢山来るだろうから足寄町も活気が出ていい効果になると思うのでぜひぜひご検討願います。(30代・女性・主婦)
- 足寄町は子育てしやすい町だと感じる。また、学校教育や社会教育等を教育委員会がしっかり支え、リードしていると感じる。今後も続けて欲しい。(50代・男性・公務員)
- なぜ不登校になるのか？近くにいたので・・・学校なのか家庭なのか先生方も大変だと思いますが、親も親なので他人が手を差し伸べないとあんな形で大人になると心配になります。学校も教育委員会も苦勞してと思いますが・・・?!よけなお世話ですかね！自分は上足寄の離れです。上足寄に来て、15年になります。広報は自治会に入っていないため来ないです。入らないのが悪いので文句は言いません。来た時に別に入らなくても良い言われました。町の中でも入ってなければ配達されないのでしょうか？(60代・男性・無職)
- 足寄町は、田舎ならではの、時間がゆったり流れている様な「のんびりとした良さ」も有ると思いますが(治安も比較的良好で)、次世代が学んだり体験したりする環境的には、都会(市等に比べ)に比べると圧倒的に、情報も様々な文化に触れる機会が乏しいと思います。規模は小さくとも良いので、様々な分野で活躍する人々の話を聴いたり、様々な「学びの世界」を紹介したり、多くの「お仕事」を見聞きする機会を作ったり、子どもや学生さんの夢や希望を後押しする、環境が作れたらいいですね。P.S 経済的な差異に関わらず、体験出来たり触れたりすることが出来ると良いと思います。(60代・女性・無職)
- アンケートの回答はしましたが、足寄で子供を育てていないため分からないものも多くありました。教育に関する内容については、小中高の在学生徒さんの親子さんや卒業生家庭にターゲットを絞った方がより良いデータを集められたのではないかと思います。(50代・女性・公務員)

- いつも充実した環境を整えて下さり感謝致します。毎日が忙しくイベント等にはなかなか参加できませんが、いつか参加したいなと思います。どうぞよろしくお願い致します。(50代・女性・サービス業)
- 参加しやすい学習内容と情報の提供をお願いします。(60代・女性・無職)
- (学校教育) 各教室へエアコンの設置を急ぐべきでは。へき地の小学校へのサポートが必要。もっと ICT 機器の活用を。遅れていると思う。  
(社会教育) 高齢化がより進んでいく中で、健康増進へのサポートはより厚くしていくべき。だが、それよりも幼・保・小の環境充実の方が長い目で見て大事だと思う。(30代・男性・公務員)
- まだ私の所は子供がいないので、実際に良いかはわかりませんが、話を周りから聞いてると、今まで住んでいた地域の中では、1 番足寄町が教育環境に力を入れている町だと思っています。子供だけでなく、大人にまで充実した環境を提供してくれてとても良いと思っています。(20代・女性・パート)
- 子どもの教育に金銭の格差はあってはならないと思う。国を主体とし、小・中・高・大と入学、卒業できる様なシステム作りが必要だと思う。専門的知識を学ぶ際の助成もバリエーション広く適用して、いろんな職種に携えるようにしてほしい。(30代・男性・会社員)
- 足湯はいらなかった。町税のムダ。温泉が出来るのが遅すぎです。子供が高校卒業したら町から出ていくのはつらいです。魅力ある町にすれば若い人も足寄に住んでくれるのではないかな・・・  
給食費ただ、授業料ただ、しかし卒業したら出ていくな、もっと観光業とかに力を入れて、就職できる環境を作った方が良いような気がする。(40代・女性・農業)
- 高校の体操着の指定について。高価格で質が良くないという声を聞く。また、ナイロンのためアトピー等の疾患がある子供は非常に辛いのではと思う。指定にしなくても、「派手にならないもの」や「色が〇〇か〇〇」と指定するだけにし、各家庭で用意してもらう方が、上記の件や金銭的にも優しいと思う。今はどうなっているかわからないが、学校でのエアコンの使用について、「何度になったらつける」と決めた方が良い。私の時は先生によって違ったり、ルールが多かったように思う。熱中症を考慮し一定の温度を越えたらつけて寒い人はひざかけ等を持ち込めば良い。また、当時「腕まくり禁止」と言われたことがあるが、こちらでも許可すべき。来訪者があるときに伸ばせば良い。また、授業中の水分補給についても教師によって異なっていた。学校全体で許可してはどうか。(50代・女性・主婦)
- 僻地の子ども達が減ってきていることが心配です。(50代・女性・主婦)
- 高学歴であることが現代社会では重要になっているため、生徒、児童らの学習意欲向上を目指した方がいいと感じる。特に家庭での学習を促進させられる方法があれば実施してもいいと思う。しかしその際、家庭がリラックスできる場所であることを損なわないよう注意すべきである。(40代・男性・会社員)
- 子供だけではなく青年(若者)を育てる町となってほしい。町内外を問わず若者が学べる町。(30代・女性・会社員)
- 大人の教育にも力を入れてほしい。ボランティアしやすい仕組みづくりをしてほしい。町民の総合体育館の利用料金を下げてほしい(70代以上・女性・主婦)
- 娘が保育園通ってますが、手厚くみてくださって大変感謝しております。ぜひ、先生方の負担軽減と給料UPをお願いしたいです。(40代・女性・パート)
- 子どもたちに本物にふれる機会をつくっていただければと思います。(40代・女性・会社員)
- 総合体育館で幼児もあそべるイベントや利用方法がもっとあるとうれしいです。(ふわふわした大きめのボールであそべるなど雨の日など)(40代・男性・無職)
- 「子どもは地域の宝」と言われていることから子育て支援、体験学習活動、少年団活動、ボランティア活動などに地域全体で取り組まれていると感じています。町内全小中学校でコミュニティ・スクールもスタートしましたので、より一層学校・家庭・地域の連携を密にしていけることができたら考えています。(50代・女性・主婦)
- 足高の存続と充実は、大変うれしいです。子どもも生徒数の確保と教育環境の充実のために道と連携して頑張ってください。若干教育の話は聞くことがあるので、教職員の充実にも力を入れるとちょっと元気になるのでは。子どもの貧困、孤立、子どもへのDVやいじめなどは、足寄に全く無縁な問題ではないと思われるので、学校、地域、教委、関係機関の連携で未然に防いでほしいと思っています。(50代・男性・公務員)

## (2) 令和5年度主な総合計画計上事業について

単位：千円

所 管	事 業 名	事 業 内 容	事業費
教育総務室	校舎等施設整備事業	芽登小学校の屋根・外壁・内部改修	44,496
		螺湾小学校の屋体改修 (天井鉄骨部塗装、照明LED化)	9,229
	教育機器整備事業	足寄小学校校務用パソコンの更新	6,000
	足寄高等学校海外研修派遣事業	高校1年生を本町の姉妹都市であるカナダ・アルバータ州ウェタスキウイン市へ派遣  ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度中止となったことから、令和5年度は2年生及び1年生を派遣	53,485
生涯学習室	総合体育館・温水プール長寿命化改修事業	温水プールの内部改修 (採暖室ベンチ、ロビー床改修)	7,000

※ 事業費が大きな主な計画



(3) その他

# 第6次足寄町教育振興基本計画 5カ年（2023～2027年度） 構成表

基本理念 「学ぶ・育てる・ささえあう」笑顔あふれるまちづくり

当日配付資

重点目標	重点目標達成のための主要施策	事業の具体的方向性	
1 生きる力を育む教育環境づくり 学校教育部会	1 魅力ある学校づくり	1 コミュニティ・スクールの推進と部活動の地域移行 3 学校施設・設備の充実 5 P T A活動の充実	2 学校組織運営体制の充実と教職員の資質向上 4 足寄高校への支援 6 学校間・校種間連携の促進
	2 確かな学力の形成	1 小中学校における学習指導の充実 3 ICT教育の推進 5 特別支援教育の充実	2 外国語教育の充実 4 家庭の教育力向上のための施策の充実
	3 豊かな心の育成	1 人間性豊かな人材を育てる教育の推進 3 体験学習活動の活用	2 郷土学習の推進 4 いじめや不登校への対策の充実
	4 健やかな体づくり	1 体力・運動能力の向上 3 健康教育の推進	2 安全・安心な給食の提供と食育の推進
2 町民の学びを支える生涯学習社会の実現 生涯学習・社会教育部会	1 学びを広げる町民の学習環境の整備	1 学習拠点の整備と活用 3 関係機関と連携した学びのネットワークづくり	2 町民のニーズに応じた学習機会の提供 4 学習情報発信力の強化
	2 生涯学習による地域づくり	1 地域コミュニティの充実と支援 3 超高齢者社会に対応した福祉活動への支援	2 防災や消費生活に関する学習の推進 4 自主的な仲間づくり活動への支援
	3 地域で活躍できる人材の育成	1 学びを支えるリーダーの育成 3 指導者不足解消に向けた人材の発掘	2 「人づくりの町」構想の推進
	4 芸術文化活動の推進	1 文化活動を担う団体の活性化 3 積極的な活動情報等の提供	2 優れた鑑賞機会と体験活動の場の充実 4 活動の拠点となる施設設備の充実
	5 生涯スポーツの充実と健康づくりの奨励	1 スポーツ活動団体の活性化 3 スポーツ活動に取り組む機会の充実 5 体育施設の充実と有効活用	2 スポーツと健康づくりに関する情報の発信 4 関係機関との連携による健康づくりの推進
	6 楽しさつながる学習・交流活動の推進	1 青年活動の推進 3 女性活動の推進 5 国際理解教育の推進	2 子育てに関する支援の充実 4 高齢者の学習活動支援 6 世代間交流と地域間交流の促進
	7 郷土愛を育む学習活動の推進	1 郷土を知る学習活動と施設の有効活用 3 文化財等の保護と活用	2 魅力ある情報の発信
3 生涯を通して学び、楽しめる読書環境づくり 読書活動推進部会	1 みんなが集える魅力ある図書館の実現	1 図書資料の充実 3 誰もが気軽に利用できる場としての整備 5 学習拠点としての整備・充実	2 図書館機能を生かしたサービスの向上 4 魅力ある図書館事業の実施 6 情報発信基地としての役割
	2 本との出会いを広げる読書活動の推進	1 図書館と学校図書館の連携強化 3 子どもの読書活動の普及・啓発	2 家庭・地域と連携した読書活動の習慣化
	3 町民の読書環境の整備	1 町民の読書活動の普及・啓発 3 関係機関との連携強化とネットワーク化	2 図書館を支える人材の育成と組織化 4 多様なニーズに応じたサービスの充実